

# 令和4年度文化芸術による子供育成推進事業－巡回公演事業－

## ワークショップ実施計画書【コロナ対策版】

制作団体名	株式会社演劇集団円
公演団体名	演劇集団円

内容
<ul style="list-style-type: none"><li>・俳優と参加児童のとの信頼関係を作る為のコミュニケーションに取り組みます。 身体を動かしながらのウォーミングアップ。シアターゲームなど。 実際に俳優が稽古中でおこなっているシアターゲームを行いません。 ミラーアクション／鏡写しのように相手と同じ動きを真似ます。 発声の練習など児童の様子をみながら、適宜内容を替えていきます。</li><li>・作品の説明 ただ作品を説明するのではなく、クイズや選択形式など児童の興味を促す方法で取り組みます。</li><li>・本番で共演するセリフの指導。 児童にセリフを考えてもらいます。 場面説明とそれに則したセリフの指導をいたします。 ★大切なのは、集中力や観察力、記憶力、協働など演劇表現に必要な作業を通して、自分自身のなかにある興味を発見してもらうことです。 コロナ対策として。参加学年を1学年（複式学級除く）とし、ソーシャルディスタンスを考えて広い体育館を利用させていただきます。児童と近くで接する場合はマスクをさせていただきます。</li></ul>

タイムスケジュール（標準）
途中休憩を挟み2時限分必要です。実施時間は学校と協議いたします。 前半は俳優達とのコミュニケーションを中心に行ないます。 後半は作品の解説と共演部分の指導をいたします。

派遣者数 ※派遣者数の内訳を御入力ください
4名 手塚祐介（主指導者／俳優） 玉置祐也（補助者／俳優） 木原ゆい（補助者／俳優） 桐戸英二（補助者／舞台監督）

学校における事前指導
・作者の谷川俊太郎さんの本などが図書室にあれば、コーナーなどを作ってください興味を促していただきたいです。

令和4年度文化芸術による子供育成推進事業—巡回公演事業—

本公演実施計画書【コロナ対策版】

制作団体名	株式会社演劇集団円
公演団体名	演劇集団円

演目
おばけリンゴ  作 谷川俊太郎 ヤーノシュの絵本「おばけリンゴ」(福音館書店)より 構成・演出 小森美巳 作詞 谷川俊太郎 作曲 小森昭宏 舞台監督 桐戸英二 出演 手塚祐介 玉置祐也 木原ゆい

派遣者数 ※派遣者数の内訳を御入力ください
4名 手塚祐介(俳優) 玉置祐也(俳優) 木原ゆい(俳優) 桐戸英二(舞台監督)

タイムスケジュール(標準)					
到着	仕込み	本公演	内休憩	撤去	退出
9時30分	9時30分～12時	13時30分～14時30分	0分	14時30分～ 15時30分	15時30 分頃

実施校への協力依頼人員
公演準備等に人員協力は必要ありません。

## 演目解説

ワルターは リンゴの木を いっぽんもっていました。  
けれども この木には まだひとつも 実がなったことはありません。  
花さえ 咲いたことが ないのです。  
ある春の夜 リンゴの木に すてきな白い花が ひとつ咲きました。  
夏になると 花はちいさな 実になりました。  
やがて 秋がきて リンゴは ひましに 大きくなりました・・・

ドイツ（ポーランド生まれ）の国民的作家ヤーノシュの絵本「おばけリンゴ」を元に、日本を代表する詩人の谷川俊太郎さんがオリジナルの舞台台本を作りました。  
無欲だった貧しい男ワルターが、ひとつの巨大なリンゴを手に入れたことにより、欲が生まれ大騒動に巻き込まれます。  
リンゴを失ったとき、はじめて欲張ることの無意味さを知ります。  
いくつもの登場人物を3人の俳優で演じ、生演奏と歌、原作絵を使った紙芝居風な作品です。

## 児童生徒の公演への参加方法、公演に参加させるための工夫

- ・代表児童数名（ワークショップで指導しますので、参加者の中からお願いします）  
劇中に登場する町の人を演じてもらい、俳優と共演していただきます。  
台詞は、台本の通りでも構いませんし、児童オリジナルのセリフで表現してもらっても構いません。 事前に学校と協議の上、どちらでもできるように対応いたします。  
**コロナ対策として。児童は俳優とともに舞台エリアで演じますが、学校側の要請に応じて、客席側から声を発してもらうのみで対応も可能です。**
- ・観劇児童全員  
劇中に登場する歌「ひみつのうた」に出てくる合いの手を参加者全員で声を出していただきます。本番中に俳優達が児童たちに促しますので事前練習は必要ありません。  
**コロナ対策として。声を出さずに、手拍子だけの参加も可能にしています。**

## 児童生徒とのふれあい

小規模校での実施の為、できるならば全児童とコミュニケーションを図りたいと考えています。安全に配慮しながら舞台仕込中の見学、舞台が創られるまでのことや専門用語の解説、本番後の質疑応答なども可能です。  
舞台装置を背景に記念撮影も行えます。